

# ウェルビーイング 鵜の島最高!

# Saiko  
Unoshima



Instagram

3つの柱

## 三世代交流が 活発な『うのしま』

めざす姿

子どもたちにとっては、家族以外の地域の高齢者や大人と触れ合うことによって、社会性や地域を愛する心が培われ、大人にとっては子どもたちから元気もらい、結果として地域にとっては、コミュニティ活性化や人と人がつながるWin-Win-Winの状況



課題

- ・関係団体間の連携強化
- ・地域人材の掘り起こし
- ・コミュニティスクールのさらなる推進

具体策

- ・三大イベント(体育祭・夏まつり・秋まつり)の魅力向上
- ・鵜の島子ども隊、地域元気応援隊やヤング自治会の企画からの参加
- ・関係する行事の一本化や魅力ある行事の企画、団体間の共同開催
- ・学校運営協議会や社会教育推進委員会からの発案による活動の実施
- ・保護者世代を取り込む仕組みづくり

関係団体

コミュニティ・子ども委員会・まちづくりサークル・自治連・婦人部・スポーツ振興会・ふれあい・はなまる・母推・社教推・PTA・むつみ会など

## 高齢者にやさしい 『うのしま』

めざす姿

高齢者(特に独居)が孤立しないよう、ご近所で話し相手や困りごとの相談相手がいる状況、また家とは別に近所に居場所があり、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりができていく状況

課題

- ・団体間、団体と関係機関の連携強化
- ・各団体構成員の資質向上及び役割の明確化
- ・地区全体での敬老会に代わる敬老のあり方

具体策

- ・研修会や情報交換会などの定期的な開催
- ・ふれあい・いきいきサロン制度の活用(分団ごとに最低1つ)
- ・高齢者と楽しむ企画(分団ごと)
- ・徒歩圏内での「憩いの場」「集いの場」の確保
- ・支え合い会議の充実
- ・高齢者の移動手手段の確保



関係団体

社協・民児協・福祉委員会・自治連・婦人部・むつみ会など

## 安心安全で健康に 暮らせる『うのしま』

めざす姿

交通事故や大きな事件がなく、また災害が起きた場合でも、近所の声かけなどにより逃げ遅れゼロが実現される。またご近所や班、自治会内でだれもがあいさつできるなど人間関係も良好で、ごみ出しなどのトラブルも少なく、地域内の環境美化に協力的な状況

課題

- ・自主防災会活動の活発化
- ・環境衛生委員やごみ減量推進員の資質向上及び住民への周知
- ・がん検診、特定健診の受診率が低い
- ・歯の健康状態がよくない
- ・体力の低下、フレイル予防



具体策

- ・減災ナースの育成・活用
- ・緊急時の連絡体制の構築(全世帯)
- ・交通立哨や見回り活動、危険個所の点検継続
- ・ネイティブ宇部の活用推進
- ・うのしま健康づくり計画の実行(検診・歯の健康)
- ・健康相談をしやすい環境の整備
- ・スポーツイベントの開催・ロコモ度チェックの実施

関係団体

自治連・婦人部・自主防災会・交通分会・交通婦人部・はなまる・ふれあい・民児協・防犯連絡所・スポーツ振興会・環衛連など

### ●3つの柱の実現に向けて

- SNSやチキのチカラなどを利用した地域の魅力発信(地域活動の日の取組)
- 地区内での情報伝達のデジタル化、迅速化
- 地区内事業所とのコラボ

### ●計画策定にあたって

鵜の島の長所をさらに伸ばし、足りない部分はしっかり強化し、鵜の島がさらに魅力ある、住みやすい地域にしていくための計画になっています。そして、今後もコミュニティ活動を通して、地域の方々が交流する場「きっかけ」から「つながり」が生まれ「お知り合い人口が増える」ことをめざします。地域の皆さん、一緒にウェルビーイングで笑顔あふれる『鵜の島』をつくりましょう。

令和6年(2024年)3月

鵜の島地区コミュニティ推進協議会 会長 藤田重治